

沼倉昌明さん『デフリンピックでパニック』（5月11日公開分）

こんにちは！沼倉です。よろしく。

元気ですか？私は元気です。今日は、デフリンピックの時のハプニング…というか、自分がパニックになってしまった話をしたいと思います。

2017年大会はトルコで開かれました。日本からは乗継も含めて17時間くらいで、1日かかりだったと思います。トルコに着いた時には、みんなぐったりでした。

到着後、ホテルにすぐに行けると思ったのですが、その前にIDカードを取得しなければなりません。IDが無いとホテルにも入れません。前もってID登録をして初めてホテルに入れるというわけです。まず、IDカードを作るための施設に日本選手団で向かいました。そこには他の国の選手団もたくさん来ており、長時間待たされることになりました。1～2時間どころではありません。昼に到着して、手続きがすべて終わったのは午後6時くらい。6時間も外で待たされたんです。みんな疲労困憊です。

ようやくIDカードを発行してもらい、バスでホテルに向かいました。私はバスの最後列の席に座っていました。あまりいい道ではなくて絶えず揺れていたのですが、私は眠れなかったのですが、私の席からみんなの様子を見ると、他の選手やスタッフたちはぐっすり眠っていました。

と、その時、何か変な匂いがしてきました。ゴムを燃やしたような匂いです。変だなと思いながらいると、エアコンの吹き出し口から白い煙が出てきて止まりません。気づいた時にはあたりが真っ白になってしまいました。他の人はみんな寝ているので、私以外誰も異変に気付いていません。もしかして煙に薬が入っていて、みんな眠らされ、気づいた時にはどこか変な所に連れ去られるのかと思いました。当時はちょうどISILによるテロが不安視されていた時期だったので、何か関係があるんじゃないかと思って1人でパニックに陥ってしまいました。

結果的には何事もなく、ただ単に車体が古かったというだけでした。心配して損しました。

それではまた！！